Ø

障がいのある人が働くことの理解を促進したい 障がいの有無に関わらず働けるまちをつくろう

市町村名:音更町

町 人 口:45,600人(平成23.3.31現在)

地域概況: 音更町は、十勝平野のほぼ中央にあり、地質もよく各種農産物の育成に適して

いて、道内でも屈指の穀倉地帯となっている。十勝川温泉を中心とした観光資源

を有し、十勝晴れの大変住みよい気候もあって、全道一の人口を有する町として

発展している。

1 取組のきっかけ・経過

きっかけは、平成 18 年度に第 1 期障害福祉計画を策定する際、町として独自の数値目標を設定 しようという声が策定委員からあがったことであった。

検討を重ねた結果、障害者自立支援法の施行により就労支援が強化されたこともあって、障がいのある人が働くことの理解を促進するため、職場実習の場の確保を数値目標として設定することとした。

こうして音更町独自の数値目標を定めた障害福祉計画が策定され、障がいのある人が働くことの 理解促進にむけた取り組みが始まったのである。

町では、町内の企業に協力を求める前に、まず町が実習生の受け入れをしようと考え、庁舎内の 仕事の洗い出しを行い、当時、既に道本庁で行われていた職場実習生の受け入れを参考にし、事業 名を「職場体験事業」として受け入れ準備を始めた。

庁舎内の各部署から様々な仕事が提案されたが、各施設から募った希望者とのマッチングの結果、 平成 19 年度は、福祉課でのデータ入力、図書館での書棚清掃、体育館での受付事務を体験業務と し、障害者就業・生活支援センターだいちの協力を得て職場体験事業がスタートしたのである。

平成 20 年度は、町の職員が町内の企業を直接訪問して事業の趣旨を説明し、協力可能な企業を探した結果、製造業、販売業、介護施設等の協力を得ることができた。

平成 21 年度以降も継続して事業を実施し、これまでに延べ 24 名が体験し、うち 3 名が一般就 労に結びついている。

【気づき】

- ・身近なところに仕事はある。
- ・マッチングが大事。
- ・時間はかかるが、足を使って説明するのが一番いい。

2 事業(活動)内容

体験者は音更町民のみで、1人当たり1日約6時間、5日間を基本として実施し、受入先の都合 や本人の希望にあわせて体験期間を調整している。

また、体験者には、町の理解促進事業に協力したことに対する謝礼を支払っている。

体験場所は、役場、図書館、体育館のほか、民間企業の協力を得て確保しており、受入先と本人の面接を行った上で決定している。

【わがまちの工夫(特徴)・売りのポイント】

- ・民間企業の協力を得て実施することで、複数の体験業務が確保されていること。
- ・体験期間や時間は、柔軟に対応していること。



図書館で、新着図書のカード作成、スタンプ押印を行うところ。

【本人の声】

「初めての職場体験だったので、始める前は、うまくできるか不安でした。実際に体験したところ、思っていたより仕事がたくさんありましたが、やっているうちに慣れることができ、貴重な体験になりました。」

3 成果・効果

これまでの体験者の中から一般就労につながった人が3名おり、体験先で就職した例も生じたことが最大の成果であるが、はじめは手探りであった職場体験事業も4年が経過し、体験者の受け入れがスムーズになってきたと感じているところである。

協力企業の中には、既に障害者雇用に積極的に取り組んでいた企業もあり、多くのノウハウとアドバイスをいただいたことは、非常に心強く、大変感謝しているところである。

また、他の企業に対する実践例として紹介することで、新たな体験場所の確保にも一役買っていただいていることは、町にとって大きな財産であると感じている。

一方、職場体験事業が初めてのチャレンジであった企業もあるが、これをきっかけとして障がい 者雇用を考えた企業も現れたことは、事業の目的である理解促進に一定の成果があったものであり、 今後も継続して実施していくことが決まっている。

4 課題・これから

1 社 1 社声を掛けてみると、「体験ならば」と協力していただける企業が現れた反面、体験者を町民に限っているため、受け入れ可能数に対して体験希望者が少ないという状況も生じているのが課題である。

また、協力企業に対してのインセンティブがないため、なんらかの形で受入先の企業にもメリットがあるものとしていく必要があると感じている。

実際に雇用となると様々なハードルがあるが、職場体験事業を有効活用することで、障がいのある人にとっても、受入先の企業にとっても、ファーストステップとして利用できる事業にしていきたいと考えている。

問合せ先:音更町民生部福祉課障がい福祉係

〒080-0198 河東郡音更町元町2番地 TEL 0155-42-2111 内線525

FAX 0155-42-5160